2025年3月18日

第72回定時会員総会 第1号議案

2024年度事業報告

日本国際貿易促進協会

一．2024年の概況

1．中国情勢

2024年は中華人民共和国成立75周年の節目の年であったが、中国経済は不動産市場の低迷、消費の萎縮、外部環境の不安定要素増大により難しい経済運営を迫られた。そのような中で7月には「改革の更なる深化」と「中国式現代化の推進」をテーマとした第20期三中全会が開催され、「民営経済促進法」の制定等を含む当面の改革目標が打ち出された。

国家統計局によると、2024年の実質GDP成長率は5.0%（134兆9084億元）で、全人代で設定した目標の5.0%前後を達成した。四半期別では、第1四半期5.3%、第2四半期4.7%、第3四半期4.6%、第4四半期5.4%。下半期の持ち直しについては、景気減速が鮮明になったことを受けて9月に打ち出された一連の経済対策が奏功したとみられる。消費者物価指数（CPI）は0.2%増で伸び幅は23年と横ばいとなった。生産者物価指数は2.2%の下落で引き続き落ち込んでいるものの、下げ幅は0.8ポイント縮小した。

対外関係では輸出入が23年の減少から増加に転じた。中国税関総署のデータでは2024年の貿易総額は6兆1622億ドル（前年同期比3.8%増）で、輸出は3兆5772億ドル（同5.9%増）、輸入は2兆5850億ドル（同1.1%増）だった。

対米貿易は輸出入総額6882.80億ドル（同3.7%増）、輸出5246.56億ドル（同4.9%増）、輸入1636.24億ドル（同0.1%減）。対米貿易黒字は3610億ドルとなり、過去最高を記録した。

対EU貿易は輸出入総額7858.24億ドル（同0.4%増）、輸出5164.61億ドル（3.0%増）、輸入2693.63億ドル（同4.4%減）。

対アセアンは輸出入総額9823.35億ドル（同7.8%増）、輸出5865.23億ドル（同12.0%増）、輸入3958.11億ドル（同2.0%増）。堅調な一方、フィリピンとの貿易は輸出、輸入ともにマイナス成長となっている。

対ロシア貿易は輸出入総額2448.19億ドル（同1.9%増）、輸出1154.99億ドル（同4.1%増）、輸入1293.20億ドル（同0%）だった。

商務部が発表した2024年の外商投資利用額は8262.5億元で前年比27.1%減だった。新規企業設立件数は5万9080件で前年比9.9%増となり、伸び幅は23年よりやや減少した。投資国としてスペイン、シンガポール、ドイツ、スイスが上位にランクインしており、それぞれ130.8%増、10.8%増、2.2%増、1%増だった。

固定資産投資総額は前年比3.2%増の51兆4374億元だった（農家を除く）。産業別では第1次産業が9543億元（同2.6%増）、第2次産業が17兆9064億元（同12.0%増）、第3次産業が32兆5767億元（同1.1%減）だった。第2次産業では工業投資が12.1%増、採掘業の投資が10.5%増のほか、電力、熱力等のエネルギー供給関連の投資が23.9%増だった。第3次産業ではインフラ投資（電力、熱力等を除く）は4.4%増、その内水利管理業が41.7%増、航空運輸業が20.7%増、鉄道運輸業は13.5%増となり、政府関連の投資が大幅増となっている。不動産開発投資は10兆280億元で10.6%減、その内住宅投資が10.5%減の7兆6040億元

で、23年に続き減速が顕著で歯止めがかかっていない。

社会消費財小売総額は前年比3.5%増の48兆7895億元だった。23年よりも伸び幅が縮小しており、消費の萎縮が見られる。インターネットによる小売総額は15兆5225億元（同7.2%増）、その内サービスを除く製品の小売総額は13兆816億元（同6.5%増）で、全体の26.8%を占めた。

中国汽車工業会の発表では、自動車の生産台数と販売台数はそれぞれ3128.2万台（同3.7%増）と3143.6万台（同4.5%増）となり、いずれも過去最高を更新した。新エネ自動車の生産台数と販売台数はそれぞれ1288.8万台（同34.4%増）と1286.6万台（同35.5%増）で、高い成長率を維持し、自動車販売市場の40.9%を占めるに至っている。

2. 日中関係

2023年11月17日にサンフランシスコで行われた日中首脳会談において「戦略的互恵関係の再構築」が合意されたことにより、2024年は日中経済交流が活発化した。4月、6月、7月に郝鵬遼寧省書記、信長星江蘇省書記、周祖翼福建省書記が相次いで来日し、友好省県での交流活動を行ったほか、東京や大阪で経済プロモーションイベントを開催した。7月22日には馬朝旭外交部副部長が来日して「日中戦略対話」を5年ぶりに開催したほか、国会議員の訪中も増加に転じ、多くのテーマで対話が行われた。

11月15日には石破茂首相と習近平主席がリマにおいて首脳会談を行い更なる交流強化を確認、11月30日には当協会を含め日本各界が求めていた中国短期滞在の査証免除措置の再開が発表され、滞在期間も従来の15日から30日に延長された。12月25日には岩屋毅外相、阿部俊子文科相が訪中し「第2回日中ハイレベル人的・文化交流対話」を開催、中国からの訪日観光客に対するビザ発給の要件緩和が発表されるなど、交流活性化に向けた措置が政府間でも図られている。放射能処理水の海洋放出に伴う日本産水産物の禁輸についても専門家に協議が行われ、輸出再開に向けての一定の前進が見られた。安全保障上の最大の懸案事項である尖閣諸島を巡る問題については日中首脳会談や「日中高級事務レベル海洋協議」で意思疎通が図られており、今後も双方が自制的に対応し、不測の事態を防ぐための仕組みを構築していくことが重要である。そのほか、6月と9月に蘇州、深圳で発生した日本人児童や日本にルーツを持つ児童が被害者となった殺傷事件やそれに伴う情報開示の在り方、邦人拘束等、日中はさまざまな懸案や課題を抱えており、これらの問題の解決に向けた政府間の真摯な意思疎通が求められている。

中国税関総署のデータによると、2024年の日中貿易総額は3082.73億ドルで3.0%減となった。その内、中国からの輸出は1520.19億ドル（同3.5%減）、輸入は1562.54億ドル（同2.6%減）だった。投資については中国国内の不動産市場の低迷や新興産業の台頭を受けて投資案件は増加傾向にはないが、飲食店や流通・小売業の中には順調に店舗展開を拡大している企業もあり、複雑な様相を呈している。

二．事業方針・計画の実施状況

2024年は当協会設立70周年の節目の年であった。訪中団については河野洋平会長を団長とし、総勢88名からなる当協会訪中代表団が7月1日～6日の日程で北京と江蘇省を訪問した。北京では何立峰副総理と会談し、23年に引き続きノービザ措置の再開や邦人拘束への適切な対処を申し入れ、合わせて6月に蘇州市で発生した日本人親子襲撃事件について再発防止と真相の究明を要請した。商務部では凌激副部長から中国の経済状況について詳細な説明を受け、日本側からも「新質生産力」に対する見解や地方間交流強化の考え方を伝えた。専門家を招いたセミナーでは「全国統一大市場建設」や中国経済の見通しについて政府系シンクタンクと民間シンクタンクの専門家を招いて紹介を受けた。また、当協会設立70周年と中華人民共和国成立75周年を祝賀する記念イベントを中国国際貿易促進委員会と共同で開催した。

5年ぶりとなった地方視察では橋本岳会長代行を団長とし南京市と蘇州市を訪問した。現地では信長星江蘇省書記をはじめとする江蘇省、蘇州市の指導者および政府経済部門の関係者と率直な意見交換を行い、特に蘇州市で発生した事件を受け邦人の安全確保を強く要請した。

当協会の事業の柱である「第13回中国NC工作機械展覧会（CCMT2024）」は4月8日～12日に上海で開催された。当協会はジャパンパビリオンを設け、27社、約2700平米の規模で日本企業の出展を組織した。

来日団受け入れについてはポストコロナを迎え23年より落ち着いたものの依然として活発であり、130の訪問団、807名を受け入れ、各種交流活動を行った。特に地方政府の日中経済協力強化の意欲は強く、当協会が協力・後援した経済関連イベントは23件だった。

中国東北産稲わら輸入に伴う農林水産省の検疫官派遣や中国産ウーロン茶に関する残留農薬検査については例年に引き続き実施した。ノービザ措置の再開が24年12月となったことから、当初予定していた運輸部会の武漢視察ミッションや深圳（大湾区）視察ミッションは25年に実施する方向で調整することになった。

中国経済の動向については、ジャーナリスト、研究者、法律家等を招請し、日本国内では5回のセミナーを開催した。機関紙『国際貿易』は23回発行し、中国の各経済指標の定期掲載のほか、在中国総領事館の担当者によるリレー投稿、両岸問題や大湾区建設等の分野における専門家の寄稿等を掲載し、紙面の充実を図った。

当協会のカウンターパートである中国国際貿易促進委員会が力を入れている「中国国際サプライチェーン促進博覧会」は第2回が11月26日～30日の会期で開催され、事務局で参加した。

9月25日には中国から古い友人を招き「日本国際貿易促進協会設立70周年祝賀記念レセプション」を開催し、400名あまりが参加した。

事務局で当協会事業の説明を行い、新規会員の獲得に努めた。近年は中国系企

業の入会が顕著に増加している。
　そのほかの活動の具体的日時・内容は「2024 年度活動報告」の通りである。

以上

2025年3月18日

第72回定時会員総会 第1号議案

2024年度 活動報告

日本国際貿易促進協会

1．定時会員総会

第71回定時会員総会
2024年3月27日（水）　於：ホテルニューオータニ『麗の間』
議題：１．2023年度事業報告（案）
２．2023年度決算報告（案）、監査報告
３．2024年度事業方針・計画（案）
４．2024年度収支予算（案）
５．規約改定（案）
６．橋本会長代行就任（案）・役員改選（案）

2．役員会・委員会等

（1）理事会

1）2023年度第2回理事会
2024年2月16日（金）　於：ホテルニューオータニ「麗の間」
第71回定時総会準備について
①2023年度事業報告（案）
②2024年度活動方針・計画（案）
③役員異動
④規約改定（案）
⑤会長代行就任（案）

2）2024年度第1回理事会
2024年7月25日（木）　於：ホテルニューオータニ「麗の間」
１．上期業務報告（案）、下期業務活動計画（案）
２．役員異動

（2）会長・会長代行・副会長・顧問懇談会

2024年12月11日（水）　於：ホテルニューオータニ　ザ・メイン16階「LAPIS 」

（3）委員会

【財務委員会】
2023年度第2回財務委員会
2024年3月8日（金）　於：当協会会議室
議題：１．2023年度収支状況・決算報告書（案）
２．2024年度収支予算（案）

2024年度第1回財務委員会
2024年10月24日（木）　＊書面報告
議題：１．2024年上期収支
２．2024年上期事業報告・下期事業計画

【監事会】
2023年度監事会
2024年3月14日（木）　於：日新航空サービス㈱
議題：2023年度決算報告（案）の監査

3．会長・会長代行活動

（1）会長の活動

中国国際貿易促進委員会 任鴻斌会長の歓迎会（会長・副会長・顧問）　2月5日

2023年度第2回理事会　2月16日
第71回定時会員総会　3月27日
2024年日本国際貿易促進協会第47回訪中代表団　7月1日～6日
2024年度第1回理事会　7月25日
日本国際貿易促進協会設立70周年記念レセプション　9月25日
会長・副会長・顧問懇談会　12月11日
2025年新年賀詞交歓会(当協会・日中経済協会　共催)　2025年　1月8日

(2) 会長代行の活動
蔡朝林　貴州省副省長と会談　5月16日
副会長・顧問との懇談会　於：新橋亭　6月10日
2024年日本国際貿易促進協会第47回訪中代表団　地方団団長　7月4日～6日
「中国塩城（東京）経済貿易協力交流会」に参加、開幕あいさつ　9月9日

4. 業　務

(1) 代表・視察団の派遣、協力

2024年日本国際貿易促進協会第47回訪中代表団　7月1日～6日

(2) 来日団・小組等の受入れ協力

【中央・地方政府、経済関係】

1) CCPIT同行各地方国貿促及び企業訪日団　2月1日～6日
任鴻斌　CCPIT会長一行20名

2) 塩城市経済技術開発区訪日団　2月27日～3月3日
謝緯　同区副主任一行6名

3) 山東省菏澤市政府訪日団　3月18日～22日
聶元科　同市委員会副書記一行6名

4) 中国共産党煙台市蓬莱区委員会訪日団　3月24日～28日
林鈺濤　中国共産党煙台市蓬莱区委員会一行6名

5) 南通市商務局訪日団　4月1日～4日
高棟梁　同市商務局副局長一行6名

6) 深圳企業訪日団　4月2日～4日
朱永峰　深圳報業集団副総経理一行2名

7) 中国国際貿易促進委員会河北省委員会訪日団　4月4日～9日
劉勁松　同委員会会長一行6名

8) 山東省企業訪日団　4月8日～13日
張斌　維勒　（青島）智能包装有限公司総経理一行5名

9) 江蘇省商務庁訪日団　4月14日～17日
湯大軍　同庁、江蘇省自由貿易試験区弁公室副主任一行4名

10) 山東省単県政府訪日団　4月20日～24日
魏伝永　同県政府県長一行6名

11) 江西省景徳鎮市珠山区訪日団　4月24日～25日
徐華　江西省景徳鎮市珠山区委書記一行6名

12) 雲南省商務庁訪日団　4月23日～28日
寸敏　同省商務庁副庁長一行7名

13) 貴州省商務庁及び貴州省企業訪日団　5月15日～19日
楊志栄　貴安新区党工委書記一行16名

14) 中国対外貿易中心集団有限公司訪日団　5月26日～27日
儲士家　同公司総裁一行4名

15) 池州人民政府訪日団　6月1日～3日
朱浩東　同市委書記一行6名

16) 深圳市竜華区人民政府訪日団　6月16日～19日
徐志斌　同区人民政府常務副区長一行8名

17) 栖霞市政府訪日団　6月16日～20日
臧雷　同市政府市長一行6名

18) 深圳市政府訪日団　7月7日～10日
程歩一　同市委員会常務委員・組織部部長一行6名

19) 深圳市重大産業投資集団有限公司訪日団　7月7日～11日
戴軍　同公司党委員会書記・董事長一行2名

20) 煙台市商務局訪日団　7月16日～18日
楊炳煒　同市商務局　副局長一行4名

21) 福建省商務庁訪日団　7月28日～8月2日
馬国武　同庁員処長一行4名

22) 中国銀行福建省支店訪日団　7月30日～31日
劉超　同支店副支店長一行2名

23) 山東省鄆県人民政府訪日団　8月7日～11日
張暉　同県人民政府県長一行6名

24) 承徳市人代常委会訪日団　8月14日～17日
劉文勤　同委会主任一行6名

25) 煙台国豊投資ホールディングス集団有限公司訪日団　8月20日～24日
顧麗萍　同公司副総経理一行2名

26) 北京城市副中心投資建設集団有限公司訪日団　8月21日～25日
李景祥　同公司総経理一行5名

27) 中国国貿促広東省委員会訪日団　8月25日～28日
白明韶　同委員会一級巡視員一行5名

28) 中国人民政治協商会議深圳市塩田区委員会訪日団　9月3日～6日
尹書彬　同委員会党組書記・主席一行4名

29) 峡江県人民政府訪日団　9月3日～6日
李寧宇　同県常務委員・副県長一行2名

30) 中国国貿促研究院訪日団　9月3日～7日
趙力進　同研究院市場研究部責任者一行3名

31) 深圳市委員会統一戦線工作部訪日団　9月5日～8日
黄偉平　同工作部常務副大臣一行6名

32) 塩城市商務局訪日団　9月7日～10日

鄭　波　同局総合処処長一行3名

33) 塩城経済技術開発区訪日団　9月8日～11日
董玲玲　同区管理委員会副主任一行6名

34) 安徽省農業農村庁訪日団　9月12日～15日
湯　洋　同庁副庁長一行6名

35) 河北省商務庁訪日団　9月19日～23日
張澤峰　同庁庁長一行5名

36) 湖南省重大招商引資弁公室（北京）訪日団　9月22日～24日
鄭建新　同室主任兼湖南省人民政府弁公庁一級巡視員一行6名

37) 雲南省商務庁訪日団　10月9日～13日
寸　敏　同庁副庁長一行7名

38) 雲南滇中新区管理委員会訪日団　10月16日～20日
楊東偉　同区管理委員会副主任一行6名

39) 上海国際商会訪日団　10月16日～20日
楊東昇　上海国際商会会長一行5名

40) 中国国際貿易促進委員会人事部訪日団　10月27日～30日
郭　旭　同部副部長一行6名

41) 南通綜合保税区発展有限公司訪日団　10月28日～12月30日
樊継安　同公司副総経理一行2名

42) 中国機床工具工業協会訪日団　11月4日～13日
毛予鋒　同協会常務副理事長兼秘書長一行8名

43) 山東省空港管理集団煙台国際空港有限公司訪日団　11月11日～11月15日
李　偉　同公司副総経理一行4名

44) 中国国際貿易促進委員会大連市分会訪日団　11月25日～11月29日
滕玉超　同分会副会長一行4名

45) 北京市貿促会訪日団　11月25日～11月29日
苑暁坤　同会対外貿易部部長一行6名

46) 哈爾浜市交通基礎施設投資建設管理有限会社　11月25日～11月30日
劉　明　同会社運営安全部部長

47) 浙江省杭州臨平区訪日団　12月1日～4日
陳　晨　同区人民代表大会常務委員会主任一行6名

48) 河北省帰国華僑連合会訪日団　12月9日～12日
張月輝　同会副主席一行6名

49) 山東放送テレビ局ドキュメンタリーセンター訪日団　12月12日～22日
王　媛　同センタードキュメンタリーセンター一行3名

50) 中国国際貿易促進委員会厦門市委員会　12月17日～21日
朱紅旗　同委員会副会長一行6名

51) 中国国際貿易促進委員会福州市委員会訪日団　12月23日～27日
晁　旭　同委員会会長一行6名

52) 石柱土家自治県人民政府訪日団　　12月23日～27日
　　張　華　同自治県委員会会長一行3名

53) 中国国際貿易促進委員会河南省委員会訪日団　　2025年1月14日～17日
　　劉　兵　同委員会二級巡視員一行5名

【知的財産権関係】

1) 中国国際貿易促進委員会特許商標事務所
　　龍傳紅　同事務所所長一行2名　　2月3日～6日
　　龍傳紅　同事務所所長一行4名　　3月10日～16日
　　康建忠　同事務所副所長一行3名　　4月14日～20日
　　龍傳紅　同事務所所長一行3名　　6月26日～30日
　　康建忠　同事務所国際事業部部長一行3名　　6月30日～7月6日
　　龍傳紅　同事務所所長一行5名　　9月2日～7日
　　範立岩　同事務所訴訟事業本部法律部商標弁護士一行2名　　9月2日～7日
　　原紹輝　中国貿促専利商標事務所副所長一行2名　　9月24日～28日
　　劉日華　同事務所国際事業部機械処副処長一行2名　　10月27日～11月2日
　　黄淑輝　同事務所国際事業部部長　一行2名　　11月19日～22日
　　康建忠　同事務所国際事業部部長一行3名　　12月1日～12月7日

2) 上海専利商標事務所有限公司
　　蒋正龍　同公司パートナー副所長一行4名　　4月7日～12日
　　範　正　同公司所長一行4名　　9月2日～6日
　　張　鑫　同公司事業部総経理一行4名　　12月2日～6日

【展覧団関係】

1) COSME TOKYO 2024　出展者3名　　2024年　1月17日～19日
2) ネプコンジャパン2024　出展者5名　　1月24日～26日
3) 2024オートモーティブワールド　出展者1名　　1月24日～26日
4) HVAC&R JAPAN 2024（ヒーバックアンドアールジャパン）　出展者1名　　1月30日～2月2日
5) 第97回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2024　出展者35名　　2月6日～8日
6) ボードカルチャー＆アウトドア展示会：インタースタイル　出展者2名　　2月13日～15日
7) 国際ホテル・レストラン・ショー2024　出展者5名　　2月13日～16日
8) H2＆FC　EXPO　春　出展者7名　　2月28日～3月1日
9) ライティング・フェア 2024　出展者17名　　3月12日～15日
10) FOODEX JAPAN 2024第49回国際食品・飲料展　出展者22名　　3月3日～9日
11) ジャパンゴルフフェア2024　出展者8名　　3月8日～10日
12) 第7回国際雑貨EXPO 春　出展者11名　　3月13日～15日
13) GOOD家電Expo　出展者4名　　3月13日～15日
14) 建築・建材展2024　出展者2名　　3月12日～16日
15) CareTEX 東京2024　出展者1名　　3月12日～14日
16) 第13回インターペット2024　出展者4名　　4月4日～7日
17) FaW TOKYO　第11回ファッションワールド東京（春）　出展者12名　　4月17日～19日
18) SEA JAPAN　2024　出展者1名　　4月10日～12日
19) AFF大阪2024　出展者24名　　4月9日～11日
20) 第27回　ファベックス2024　出展者13名　　4月12日～14日
21) CPHI　JAPAN　2024　出展者3名　　4月17日～19日
22) OPIE2024　出展者2名　　4月22日～27日
23) ビューティーワールド ジャパン東京　出展者4名　　5月13日～15日
24) ifia Japan2024　出展者2名　　5月22日～24日
25) 2024NEW環境展／2024地球温暖化防止展　出展者1名　　5月22日～24日
26) AFF東京2024　出展者16名　　6月5日～7日

27) 第3回AI　World［夏］　出展者1名　6月11日～13日
28) 威海百成会展服務有限公司訪日団　出展者3名　6月11日～15日
29) JFEX SUMMER（第4回 国際 食品・飲料商談Week）　出展者12名　6月19日～21日
30) 湖南省邵陽市政府訪日団　出展者5名　6月22日～25日
31) 第19回ライフスタイルWeek 【夏】　出展者8名　7月3日～5日
32) 第35回国際 文具・紙製品展 【夏】　出展者4名　7月19日～21日
33) SPORTEC2024　出展者2名　7月16日～18日
34) TECHNO FRONTIER 2024　出展者14名　7月26日～7月28日
35) 第1回CareTEX24東京　出展者2名　7月30日～8月1日
36) 東京おもちゃショー 2024　出展者3名　8月29日～9月1日
37) 第60回JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2024　出展者26名　8月29日～31日
38) 第26回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー　出展者10名　8月21日～23日
39) 第98回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2024　出展者94名　9月4日～6日
40) SENSOR EXPO JAPAN 2024　出展者3名　9月12日～16日
41) FOODEX JAPAN in Kansai　出展者2名　9月18日～20日
42) 第2回インターペット大阪　出展者4名　9月18日～20日
43) 東京国際物流展LTT Logis-Tech Tokyo 2024　出展者2名　9月10日～13日
44) 国際雑貨EXPO2024【関西】　出展者2名　9月24日～26日
45) GARDEX第18回国際ガーデン＆アウトドアEXPO　出展者1名　10月9日～11日
46) ファッション ワールド東京2024　出展者2名　10月15日～17日
47) TOKYO PACK 2024　出展者1名　10月23日～25日
48) 第14回 農業WEEK　出展者6名　10月7日～12日
49) 第7回メディカルジャパン 東京　出展者1名　10月9日～11日
50) 食品開発展2024Hi&Fit Japan　出展者1名　10月23日～25日
51) 第15回高機能素材Week　出展者4名　10月29日～31日
52) 第43回JAPANTEX2024　日（中芸43、スカイ5、日東13）　11月20日～22日
53) JIMTOF2024　出展者9名　11月5日～10日
54) AFF東京2024　出展者10名　11月27日～11月29日
55) 第26回エコプロ2024　出展者9名　12月4日～6日
56) 第2回　ものづくり　ワールド　［九州］」　出展者2名　12月4日～13日
57) 中小企業　新ものづくり・新サービス展（視察）　出展者2名　12月4日～6日
58) 第9回JAPAN BUILD TOKYO―建築の先端技術―　出展者1名　12月11日～13日
59) 威海百成会展服務有限公司訪日団　出展者2名　12月18日～24日・24日～29日
60) 第8回ライフスタイルWeek【春】」　出展者1名　2025年1月15日～17日
61) 威海百成会展服務有限公司訪日団（2団体）　出展者2名　2025年1月14日～18日・16日～22日
62) 第4回　スマート物流EXPO（視察）　出展者1名　2025年1月21日～25日
63) フィッシングショーOSAKA2025　出展者1名　2025年1月31日～2月2日

計807名

(3) 投資説明会、交流会への協力・後援

＜投資説明会＞

1) 中国山東省輸出入商品展示商談会
主　催：山東省商務庁
日　程：2024年3月6日～8日
場　所：マイドームおおさか　1～3階

2) 中国・恵州―日本投資説明会
主　催：恵州市人民政府
日　程：2024年4月5日
場　所：ホテルニューオータニ

3) 広州交易会プロモーション説明会
主　催：中国対外貿易中心集団有限公司
日　程：2024年5月27日
場　所：ホテルニューオータニ「麗の間」

4) 中国ビジネス無料個別相談会
主　催：TJCCコンサルティンググループ
日　程：2024年9月2日～6日
場　所：TJCC東京事務所　会議室

5) 2024大阪国際ライフスタイルショー／浙江省輸出商品（大阪）交易会
主　催：浙江省商務庁
日　程：2024年9月11日～13日
場　所：インテックス大阪1号館＆2号館

6) 雲南滇中新区投資促進説明会
主　催：雲南滇中新区管理委員会
日　程：2024年10月17日
場　所：京王プラザホテル本館43階

7) TJCCコンサルティンググループ主催セミナー及び個別相談会
主　催：TJCCコンサルティンググループ
日　程：2024年10月29日
場　所：品川インターシティ　ホール棟地下1階会議室4

8) 2024深圳市グローバル投資促進プロモーション大会日本分大会
主　催：深圳市投資促進局ほか
日　程：2024年11月19日
場　所：品川プリンスホテル　メインタワー28階エメラルド

＜交流会・イベント＞

1) 日本「大連ウィーク」オープニングセレモニー
主　催：大連市商務局
日　程：2024年2月26日
場　所：ザ・プリンスパークタワー東京　B2階　「コンベンションホール」

2) 「The Makers Apparel Show 2024」
主　催：The Makers Apparel Show 事務局
日　程：2024年2月28日～29日
場　所：サンシャイン文化会館

3) 「土からうまれるいのち一彫刻家セツ・スズキと中国玉石作品展」
主　催：日中友好会館ほか
日　程：2024年3月5日～24日
場　所：日中友好会館美術館

4) セミナー「新会社法の変更点の総まとめと日系企業が行うべき対応」
主　催：TJCCコンサルティンググループ
日　程：2024年3月15日
場　所：品川インターシティ ホール棟地下1階会議室5

5) 河北－東京企業商談交流会
主　催：中国国際貿易促進委員会河北省委員会ほか
日　程：2024年4月10日
場　所：日本橋東京ベルサール

6) 江蘇一日本　開放・イノベーション・協力交流会
主　催：江蘇省人民政府
日　程：2024年6月17日
場　所：ANAインターコンチネンタルホテル東京「プロミネンス」B1階

7) 長江デルタ発展チャンス　南通好通　南通経済協力交流会
主　催：南通市商務局

日　程：2024年6月11日
場　所：東京品川プリンスホテル　30階

8）2024中国（深圳）―日本（東京）経済貿易交流座談会
主　催：中国共産党深圳市委員会組織部
日　程：2024年7月9日
場　所：ホテルニューオータニ　ガーデンタワー　「緑鳳の間」

9）中国（福建）―経済貿易協力交流会
主　催：福建省人民政府ほか
日　程：2024年7月31日
場　所：ザ・プリンスパークタワー東京　地下2階　コンベンションホールE,F

10）第2回The Makers・Apparel show
主　催：The Makers・Apparel show事務局
日　程：2024年9月4日～5日
場　所：サンシャイン文化会館　展示ホールD

11）チャイナフェスティバル2024
主　催：中華人民共和国大使館ほか
日　程：2024年9月7日～8日
場　所：代々木公園イベント広場

12）中国塩城（東京）経済貿易協力交流会
主　催：塩城市人民政府
日　程：2024年9月9日
場　所：ホテルニューオータニ東京　「芙蓉の間」

13）2024日本企業広西行交流会
主　催：当協会、中国-アセアン博覧会秘書処
日　程：2024年9月23日
場　所：南寧会展豪生大酒店

14）中国（深圳・宝安区）―日本（東京）経済貿易交流会
主　催：深圳市宝安区人民政府
日　程：2024年9月26日
場　所：品川プリンスホテル　メインタワー宴会場　ルビー34

15）雲南―日本コーヒー産業交流会」
主　催：日本雲南総商会
日　程：2024年10月11日
場　所：TKPガーデンシティPREMIUM神保町

(4) 展覧会・商談会

【中国での開催】

名称：『第13回中国NC工作機械展覧会（CCMT2024)』
会期：2024年4月8日（月）～12日（金）
会場：上海市／上海新国際博覧中心

(5) 企業信用調査・市場調査、投資・貿易相談業務

1）中国企業信用調査・市場調査
2）中国企業紹介サービス
3）個別協力

(6) 部会、協議会、懇話会

１．部会

運輸部会	2月27日	総会
検査部会	11月29日	総会【書面議決】

２．協議会・懇話会

中国茶輸入協議会	3月14日	総会
中国茶輸入協議会	9月30日	残留農薬検査
日中知的財産交流会	8月21日	総会【オンライン】
中国稲わら輸入促進懇話会		農水省検疫官の派遣

(7) 会員セミナー、フォーラム

1) 新情勢下における両岸関係の行方
日程：2024年2月16日（金）
会場：ホテルニューオータニ　「麗の間」
講師：富坂　聰　拓殖大学海外事情研究所教授

2) 『全人代後の中国経済について』
日程：2023年3月27日（水）
会場：ホテルニューオータニ　「麗の間」
講師：丸川知雄　東京大学社会科学研究所　教授

3) 『中国会社法改正と現地法人のガバナンス～　外国投資法、データ規制の最新動向等を踏まえて』
日程：2024年6月12日（水）
会場：エッサム神田1号ホール　5F　イベントホール2
講師：石本茂彦　森・濱田松本法律事務所　弁護士

4) 『中国経済の現状及び全国統一大市場建設計画』
日程：2024年7月2日（火）
会場：長富宮飯店「芙蓉の間」
講師：王　一鳴　中国国際経済交流センター　副理事長

5) 『中国経済及び日中経済協力の現状と課題』
日程：2024年7月3日（水）
会場：長富宮飯店「芙蓉の間」
講師：曹　遠征　国観知庫　研究員

6) 『三中全会を踏まえた中国経済動向について』
日程：2024年7月25日（木）
会場：ホテルニューオータニ　「麗の間」
講師：朱　建栄　東洋学園大学　客員教授

7) 『中国経済の最新状況』
日程：2024年11月6日（水）
会場：神田エッサム1号館　701号室
講師：小宮昇平　独立行政法人日本貿易振興機構　リサーチマネージャー

(8) 業務協議書の締結

中国対外貿易中心集団有限公司との協力協議書（5月27日）

大連（中国）稲わら輸出協会との新協議書締結（7月10日）

重慶市石柱土家族自治権政府との協力協議書（12月）

(9) 書籍の発行・販売及びメールマガジンの配信

中国経済六法2024年総合版（12月15日）
メールマガジン（第222号～第233号）

（10）機関紙『国際貿易』の発行（23回）

【一面主要記事】

中国23年GDP5.2%の伸び	第2426号	1月23日
日本23年対中貿易が3.8%減	第2427号	2月5日
米23年対中輸入が2割減	第2428号	2月27日
全人代、経済成長率5%前後目指す	第2429号	3月12日
日本23年、対中投資が3割減の39億ﾄﾞﾙ	第2430号	3月26日
会員総会で河野・橋本体制スタート	第2431号	4月9日
中国、第1四半期のGDP5.3%増	第2432号	4月23日
習主席、米国務長官と会談	第2433号	5月14日
習主席、プーチン大統領と会談	第2434号	5月28日
4年半ぶりに日中韓サミット	第2435号	6月11日
中国、中央ア2カ国へ鉄道	第2436号	6月25日
協会訪中団、何副総理と会見	第2437号	7月9日
橋本団長、信長星江蘇書記と会談	第2438号	7月23日
三中全会、民営経済促進図る	第2439号	8月13日
中国、スマート水運が急成長	第2440号	8月27日
中国ロボット産業、最先端目指し、人材育成	第2441号	9月10日
中国トップ企業500社、売上総額10兆元超す	第2442号	9月24日
当協会創立70周年記念レセプション	第2443号	10月8日
石破首相、李強総理と初の首脳会談	第2444号	10月22日
1～9月中国、GDPが4.8%増	第2445号	11月12日
石破首相、習近平主席と初会談	第2446号	11月26日
中国27年までに5G大規模応用	第2447号	12月10日
河野洋平会長あいさつ	第2448号	12月24日・1月14日

（11）その他

【他団体などの主催活動への後援】

第25回中国山東省輸出商品展示商談会	3月8日～10日
華鐘コンサルタントグループ・上海市外国投資促進中心共催	
第36回春季中国セミナー（オンラインセミナー）	5月23日～24日
中日友好交流代表団歓迎レセプション	5月25日～26日
劉建超　中国共産党中央対外連絡部部長　講演会	5月29日
「光影共鳴～ゆるかわふうの光彫り世界と柴廣義の中国影絵人形」	7月5日～8月4日
在中国日系企業における最新のリスク管理とガバナンスに関する17の疑問～改正会社法施行後の対応～	9月13日
「中国現地トップによるパネルディスカッション」	9月26日
姜育恒日本公演「人生の道」	10月8日
「長安・夜の宴～唐王朝衣食住展～」	10月11日～12月1日
華鐘コンサルタントグループ・上海市外国投資促進中心共催	
第37回秋季中国セミナー（オンラインセミナー）	12月5日～6日
第42回全日本中国語スピーチコンテスト	2025年1月12日
日中投資促進機構設立35周年特別企画　中国ビジネス実務セミナー25年1月30日～31日・2月6日～2月7日	
「第21回中国人の日本語作文コンクール」	25年1月～26年3月
「第8回忘れられない中国滞在エピソード作文コンクール」	2025年1月～12月

以　上

2025年3月18日

第72回定時会員総会 第3号議案

2025年度 事業計画

日本国際貿易促進協会

一．中国情勢（政治・経済）

2025年は「第14次五か年計画」の最終年にあたる。24年の中国は目標としていたGDP成長率5%前後を達成したものの、不動産市場の低迷、消費の落ち込み、外部環境の不安定性増大等があり、今年の経済運営も予断を許さない状況が続くと見られる。

厳しい経済状況を反映し、24年12月11日、12日に開催された中央経済工作会議ではこれまで数年来維持されてきた「積極的な財政政策」「穏健な金融政策」という表現が「より積極的な財政政策」「適度に緩和した金融政策」に変更された。特に金融政策に関する表現の変更は14年ぶりであり、需要不足からくるデフレに対する警戒感が如実に現れている。その上で、具体策として財政赤字の拡大、超長期国債の増発、地方政府特別債の追加発行及び使用範囲の拡大、利下げ、十分な流動性確保等が掲げられた。

課題としては「有効需要の不足」「一部企業の生産経営の困難」「民衆の雇用、収入増が直面する圧力」「多数存在する潜在的リスク」等を列挙し、「消費の底上げ、投資効率の向上、内需拡大」を第一の重要任務とした。また、そのほかの任務として「イノベーションによる『新質生産力』の発展」、「経済体制改革による牽引作用の発揮」「ハイレベルな対外開放による対外貿易、外資導入の安定」、「重点分野におけるリスクの効果的な防止、解消」「新型都市化と農村全面振興の一体的推進」「地域戦略実施の強化」「Co2削減、汚染防止、エコ拡大の協調的推進」「民生分野における保障、改善の強化」が明記された。

3月5日に全国人民代表大会が開会し、李強総理が行った政府活動報告で今年の目標数値と政策が示された。GDP成長率は5%前後と昨年同様の目標となったが、中央経済工作会議の決定を受ける形で政府の財政赤字の対GDP比を昨年より1ポイント引き上げ4%前後（5兆6000億元）とし、超長期特別国債、特別国債、地方特別債等もそれぞれ増加させている。用途も国有大型銀行への資本注入、不動産市場の下支えや企業への未払金返済などが明記されており、目下の経済情勢に対する厳しい認識が示されている。また、重要任務として消費喚起、有効投資の拡大のほか、「新質生産力」の発展と新興産業の成長が強調されており、旧来型の経済発展モデルからの転換を図る姿勢が打ち出されている。イノベーションや新興産業の発展が足下の経済発展に直結していくか注目される。

二．日中経済・貿易交流等の推進

当協会を含め日本各界が要請してきた中国短期滞在ビザの査証免除措置の再開が24年11月30日に発表され、日中経済交流の基盤が強化された。当協会は日中国交正常化前から経済協力を推進してきた民間団体として、日中両国や国際情勢が

どうあろうとも経済交流を推進することで、両国及び両国国民の相互理解の増進の一助とする。交流拡大を一段と進めるため、懸案について中国側と率直な意見交換を行い、課題の解決や改善に努める。

訪日団の受入やイベントの実施に協力し、直接交流をさらに推進する。中国企業の対日進出の動向も掘り起こし、協力を強化する。

ノービザ措置の再開に伴い利便性が向上したことから、交流・視察活動を強化し、テーマ別の視察団を派遣し、中国各地、各業界の最新状況の把握に努める。

各種セミナーの開催や機関紙の発行、展覧会への出展組織、個別協力等を通じ、引き続き会員の事業展開に資する活動を推進する。

具体的には以下の活動計画に基づき実施する。

三．活動計画

1．訪中団の派遣

①協会訪中団

会長、会長代行、副会長、顧問及び会員企業の代表で編成し、訪中する（6月2日～8日で中国側と最終調整中）。北京では国家指導者との会見、商務部との交流、企業への訪問などを通じて2025年の中国の経済政策への理解を深める活動を行う。地方交流は中国とアセアンの交流拠点となっている広西チワン族自治区を訪問し、政府部門との意見交換を行うとともに代表的企業の視察、交流を行う。

②湖北省武漢市「Sea&River&Rail 一貫輸送」視察団（4月21日～24日）

日本大阪港―武漢新港―中欧班列の新ルートの拠点を目指している武漢市の取り組みを運輸部会で視察する。

③グレーターベイエリア（大湾区）構想視察交流団（下半期）

広東省と香港、マカオの協力体制を強化し、一大経済圏の形成を目指し、中国政府が主導している同地域に視察団を派遣する。

④部会、協議会、懇話会及び展覧会関係の視察交流団を派遣する。

2．来日団の受け入れ、交流の促進

2025年は4月～10月まで「大阪・関西万博2025」が開催される。これにあわせ、中国の各省・市等が来日団を組織し経済関連イベントの開催を計画している。中国側の運営団体である中国国際貿易促進委員会とも連携してこれらの活動に協力し、より一層の経済交流の促進を図る。そのほかの来日団についても従前通り分野・テーマ別の来日視察・研修団を中国の関係機関・部門と共同して組織し、会員関係企業等との交流を促進する。とくに中国の民営企業の受入れを強化する。

万博関連で来日し、当協会が協力する訪問団は以下の通り。

3月

河北省国貿促

広西国貿促

福建国貿促

湖南省湘江新区　※3月26日に説明会を開催予定

4月
四川省国貿促
吉林国貿促
新疆ウイグル自治区国貿促

5月
江蘇省商務庁（5月）

6月
湖北省国貿促（6月に説明会を開催予定）

（3月18日現在）

3．投資、輸出入の促進
①「第19回中国国際工作機械展覧会（CIMT2025）」（4月、北京）に日本企業約57社、約7300㎡）を組織し出展する。
②日本で開催される国際展を中心に中国企業の出展、参観に引き続き協力する。
③日本商品に特化した大連で9月に開催される日中博覧会に協力する。
④企業の個別案件への協力を行う。
⑤協力覚書を交わしている在日中国企業協会とタイアップし、賛助会員や在日中国企業を組織して日本の地方都市との交流を行う。

4．協議会・懇話会
中国茶、水煮筍、稲ワラの各協議会、懇話会を中心に従来と同様、残留農薬の自主検査を実施する。農水省の植物検疫官の大連への派遣に協力する。中国側関係部門との連絡・連携に努める。

5．中国の地方都市との交流
中国の地方政府・開発区の駐日事務所との交流を継続するとともに、具体的な取り組みを図る。中国の地方都市との交流強化に一層努める。また、中国地方政府が組織する現地視察ミッションの派遣にも協力する。

6．地方協力の推進
当協会の沖縄連絡窓口である琉球経済戦略研究会（琉経会）を通じ、沖縄県と中国地方都市との交流拡大を図る。

7．知的財産権保護
日中知的財産交流会を中心に活動する。2月19日に上海市知識産権服務行業協会と共催でWEB勉強会を開催する。

8．企業信用調査
調査内容の充実に努め、受注案件の増加に努める。

9．連続セミナー
中国の新たな動向、重要課題をテーマに適時開催する。現時点で確定しているセミナーは以下の通り（①を除くセミナーのタイトルは仮題）。

①「トランプ時代の中国経済」（2 月 18 日）
②「全人代後の中国経済の最新動向」（3 月 18 日）
③「新情勢下での日中外交」（4 月）
④「中国のデジタル化政策の現状（通信分野を中心に）」（上半期）
⑤「新時代の日中労務協力」（上半期）
⑥「中国の新興産業の現状」（下半期）

10. 機関紙・出版
①機関紙「国際貿易」の発行
年間 23 回を予定。
②出版
『中国経済六法 2025 年（増補版）』（25 年 2 月）
③メールマガジン
定期的に配信する。

以上

2025年3月18日
第72回定時会員総会　第5号議案

役員異動（案）

（敬称略）

《副会長》

ANAホールディングス株式会社	（旧）相談役	大橋　洋治
全日本空輸株式会社	（新）代表取締役社長	井上　慎一

《監事》

川津産業株式会社	（旧）取締役会長	川津　輝夫
株式会社展示構成	（新）代表取締役会長	吉村　勝博

《常任理事》

住友商事株式会社	（旧）グローバル戦略推進部部長	徳田　憲
住友商事株式会社	（新）グローバル戦略推進部部長	石川　義一

《理事》

株式会社展示構成	（旧）代表取締役会長	吉村　勝博
株式会社展示構成	（新）代表取締役社長	田口　周
川津産業株式会社	（新）取締役会長	川津　輝夫